

海上保安庁長官賞/Glocal SDGs賞

栃木県佐野高等学校

SGクラブ研究班

スリランカの貧困問題など4つの社会課題に注目



佐野市福祉フェスタ



佐野クールアースデイ



佐野クールアースデイ

活動期間 2023年4月～（40回ほど活動）

構成人数 高校生14名

SDGs テーマ



推薦メッセージ

本校にはSGクラブというものがあまして、現在5つの班が熱心に活動をしています。①スリランカの支援、②ヘアドネーションを世に広める、③唐沢山城（地元の巨大山城）を知らしめる、④空き家の利活用、⑤地域社会のつながりについて、です。答えのない問いに対して何とかしようと研究・活動をしています。その活動によって「自身の生き方」を考えたり、「学びとのつながり」ができてくると良いと思います。また、社会とつながりながら少しでもお役に立ちたいと考えて活動をしており、推薦をいたします。

栃木県佐野高等学校 教諭 松井 博司

活動内容

私たちは、4つの班に分かれて、自分たちの興味のあることについてかんがえを深めることや、社会課題の解決に向けて活動しています。また、班ごとの活動以外にもクラブ全体として、地域の環境保全や福祉に関連するイベントなどにも参加しています。

○スリランカ班

スリランカ班では、スリランカの貧困問題に貢献することを最終的な目標として活動しています。日本は他国に比べて寄付意識が低いいため、私たちは日本人の寄付に焦点を当て研究しています。現在は日本人の個人寄付の現状を5つの観点から分析し、個人寄付意識が低い原因を探りました。また、学校祭でスリランカ産の紅茶の茶葉を使ったクッキーを販売し、慈善団体を通して売り上げをスリランカに寄付しました。

○ヘアドネーション班

より多くの人にヘアドネーションという活動について知ってもらうため、地域の美容室に呼びかけ、ポスターの掲示やドネーションカットなどに協力していただこうと考えています。地域の福祉イベントでポスターの掲示や来場者へのアンケートを行いました。今後、美容室にもアンケートを取り、ポスター掲示やヘアドネーションについてさらに詳しく書いたカード

活動内容

配布、ドネーションカットなどの協力をお願いします。

○空き家班

空き家班は、空き家を活用して高校生の居場所を提供し、高校生の充実した日々をつくるために活動しています。私たちのまちでは空き家が年々増えており、それらを少しでも減少させたいという思いから、活用方法を思案し、実現させようと考えています。思案する段階で、まち歩きを行いました。現在は同じく、地域で空き家を減少させる活動をしている団体の皆さんと協力し、実現に向けての話が進んでいます。

○唐沢山城班

私たちの活動は「唐沢山城の魅力や歴史の知名度を上げる」を目標にしています。栃木県佐野市にある唐沢山は素晴らしい山城であり、中でも古くから伝わる石垣や歴史が魅力です。しかし、地元民はあまり魅力（歴史）を知らなかった方が多いです。そこで唐沢山の魅力が伝わるために唐沢山の歴史や跡地を表記した新マップの作製をする予定です。唐沢山城の魅力を多くの人に伝えたいと思います。



01.活動をはじめたきっかけ

自分の経験や興味が 社会問題を解決するきっかけに

○スリランカ班

まず、先輩方の先行研究からスリランカの貧困問題を知りました。途上国支援や寄付について詳しく調べるうちに日本は民間の寄付や支援が他の先進国に比べてんではないことが分かり、研究を始めました。

○ヘアドネーション班

自身でも 2 度ヘアドネーションをし、それを知った地域の人にも髪を寄付してくれたという経験から、もっと多くの人に知ってもらいたいと思い、始めました。

○空き家班

身近に空き家を所持している人がいたことです。空き家の管理や税金などに困っているのを見て、そのような人たちの悩みを解決したいと考えました。

○唐沢山城班

1 つ目は班員全員が歴史好きであり歴史を用いた研究がしたいという思い、2 つ目は歴史を用いた地域活性化を取り組みたいという思いから始めました。

02.活動から学んだ・感じたこと

まずは多くの人に問題について 知ってもらうことが大切

○スリランカ班

日本と他国との寄付意識の差は、大学入試で有利になるという制度や国民性の違いから生まれることが分かりました。また、日本人に最適であるのは、金銭よりもモノの寄付の方だと感じました。

○ヘアドネーション班

アンケートから、この活動についてよく知らないため協力しづらいという人が多いと分かり、知ってもらうことが寄付を増やすのに効果的だと感じました。

○空き家班

意外と空き家が身近にたくさんあることがわかりました。また、この活動を通して空き家を用いて様々な施設が作られていることを初めて知りました。

○唐沢山城班

地域の方にアンケートを行い、唐沢山城をあまり知らないと答えた人が多くて驚きました。また唐沢山城の歴史を私たちが調べて、地域の歴史の再発見ができました。

03. 継続するためのこれからの工夫

地域社会と協力して 一歩ずつ活動を進めていく

○スリランカ班

日本人が、継続してモノの寄付をできるような方法、システムの提案をしたいです。例えば、書き損じはがきや不要な文房具類など身近なモノを考えています。

○ヘアドネーション班

美容室にポスター掲示などの協力をお願いし、どの美容室でもドネーションカットができるようにし、より多くの人が参加しやすくしていきたいと思います。

○空き家班

ターゲットとなる高校生にアンケートを取り、その結果を反映させて、充実した居場所となるように実現に向けて土台を固めていきたいです

○唐沢山城班

新マップの作製のために定期的にフィールドワークや地元の方にアンケートを取っていき、また市役所とも協力したいと思っています。

活動の略歴

○スリランカ班

令和4年

文化祭でスリランカ産紅茶のクッキーの販売

夏休み放課後を使い3回ほどスリランカ調理の調査

令和5年

文化祭で紅茶クッキー、タンドリーチキンの粉、紅茶のティーパックの販売、その売り上げを寄付。不要な文房具、書き損じはがきの回収

11月 SSH 高の成果発表会に参加

○ヘアドネーション班

令和5年

10月

佐野市福祉フェスタに参加(ヘアドネーションに関するポスターとスライドの掲示)

○空き家班

令和5年

10月

佐野市福祉フェスタに参加

11月

みんなのしゃべり場「まちづくりと市民活動」への参加

○唐沢山城班

令和5年

6月

研究スタート

7月

市役所へフィールドワーク(歴史について聞きました)

10月

唐沢山へフィールドワーク

福祉フェスタにてアンケート実施(唐沢山城の知名度を調べました)